



やっかんがわ

# 国営駅館川地区の概要



**MAFF**

Ministry of Agriculture,  
Forestry and Fisheries

農林水産省

九州農政局 駅館川農地整備事業所



# 01 地域の概要

# Yakkangawa

- 本地区は、大分県宇佐市の安心院盆地を中心とする中山間地域で、古来は稲作を主体としてきた純農村地帯でした。
- 年間降水量が1,600mm程度と少なく、地形も急峻なため、常に干ばつ被害にさらされる営農を強いられました。
- このため、昭和39年度～54年度に国営かんがい排水事業により日出生ダム等を築造し、安定した水源を確保するとともに、昭和41年度～55年度に国営総合農地開発事業により山林原野を開墾し、樹園地を造成しました。
- この結果、大規模なデラウェアを中心とするぶどう団地が造成され、一大産地が形成されました。



▲不安定な農業用水



▲水源を安定確保(日出生ダム)



▲デラウェアのぶどう団地

# 02 地域の課題

# Yakkangawa

国営事業完了後約40年が経過し、

- 造成された農地は狭小で急傾斜のほ場が多く、大型機械等の導入による効率的な営農が困難
- 農業従事者の高齢化が進むとともに、担い手や後継者不足も相まって、耕作放棄地が増加
- 水利施設の老朽化により管水路の漏水等が生じており、施設の維持管理に多大な費用と労力を要するとともに、農業用水の安定供給に支障等が生じています。



急傾斜のほ場



耕作放棄地の増加



管水路からの漏水

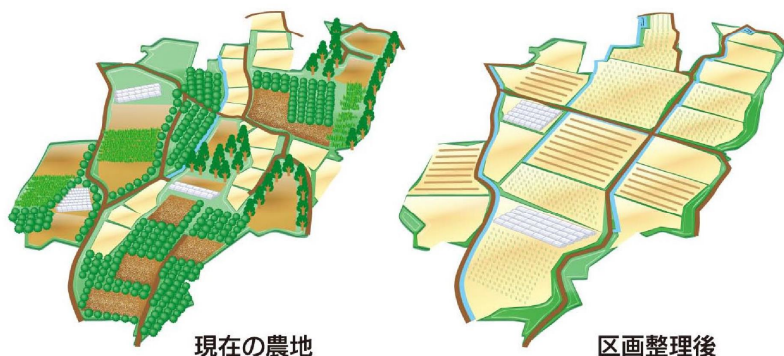
# 事業の目的

Yakkangawa

■ 本事業では、区画整理の施工により、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進め、併せて農業用排水を一体的に施工し、農業用水の安定供給を図ることにより、緊急的に生産性、収益性の向上及び耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資することを目的としています。

## 区画整理

大区画化(1区画50~100a程度で整備)



現在の農地

区画整理後

### 農地の集約(イメージ)



## かんがい施設

現状



整備イメージ



# 事業の概要

Yakkangawa

## ◆受益面積

区画整理:170ha  
農業用排水:787ha

## ◆総事業費

213億円(令和3年単価)

## ◆主要工事計画

区画整理:170ha  
用水路工: 6路線 32.9km  
揚水機場(改修):4箇所

## ◆事業期間

平成27年度 ~  
令和8年度(予定)



## 【新たな芽生え】

- 大分県では、儲かる農業の実現を目指し、県内外の企業的経営体の誘致を積極的に推進しています。
- 宇佐市においても、醸造用ぶどう、茶等を栽培する農業生産法人が新規に参入しています。
- 整備が完了した農地では、新たな担い手による生産性の高い営農が展開されています。



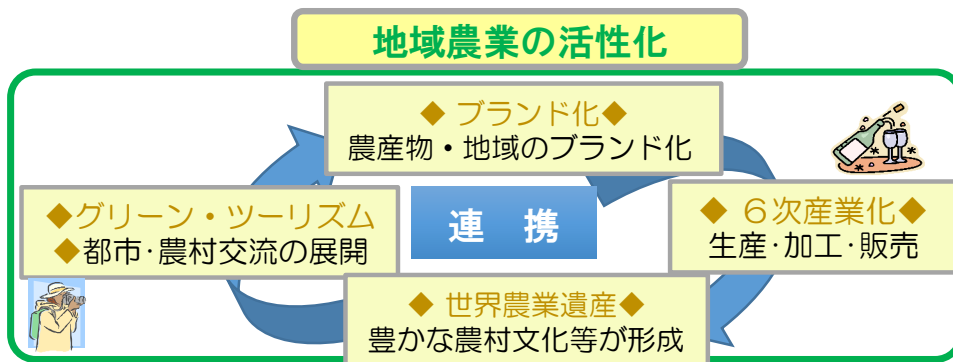
醸造用ぶどうの収穫  
(矢津団地)



安心院ワイン



ベビーリーフの作付状況  
(且尾団地)



ベビーリーフ

## 【グリーン・ツーリズムの展開】



▲「農家民泊」の体験学習で  
ぶどう園を訪れた中学生

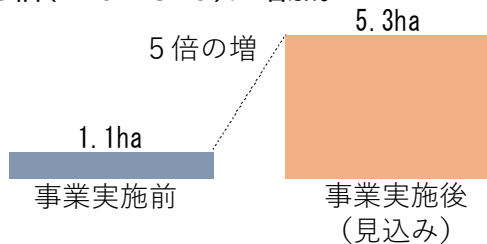
地域資源を活用したぶどう栽培の農業体験や農家民泊など「グリーン・ツーリズム」の展開により都市と農村の交流を進めています。

※「グリーン・ツーリズム」とは、農山漁村地域において自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動(農林水産省HPより)

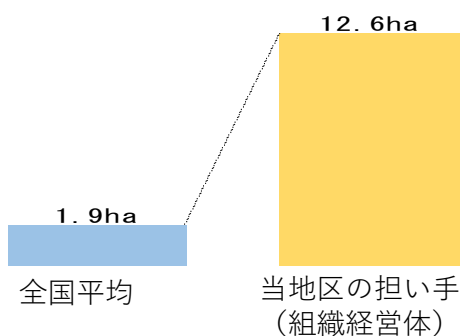
- 大区画、緩傾斜に整備されたほ場では大型機械の導入が可能となり、経営規模の拡大や営農 作業の効率化、低コスト化を実現します。
- 担い手(新規参入法人を含む)への農地利用の集積・集約化を進めることにより、経営規模の拡大による生産性、収益性の向上が見込まれます。
- 企業的経営体による農業生産が展開されることにより、地場産の原料を活用した6次産業化やブランド化への取組が加速的に推進され、農業の振興を基幹とした地域経済の活性化が期待されます。

## 経営規模の拡大

■ 農地の集積・集約化により担い手(個人経営体含む)の経営規模は、事業実施前に比べ約5倍(1ha→5.3ha)に増加。



■ 担い手(組織経営体)の経営規模は、1経営体当たり約13haとなり、全国の中山間地域の経営規模約2haを大きく上回ります。



■ また、本地区に参入した担い手企業の雇用の拡大や、後継者の増加も期待されます。



宇佐産業科学高校生の荒茶加工場の見学

## 農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化

■ 6次産業化の強化とともに、全国や海外にも目を向けた市場開拓が期待されます。



宇佐の6次産業 (宇佐ブランド)

■ 担い手企業の雇用拡大や障がい者福祉施設との連携が期待されます。



ぶどうの箱詰め作業



パビーリーフの袋詰め作業

■ ぶどうの観光農園拡大による所得向上やワイン祭り等のイベントを活用したぶどうを始めとする農産物のPR・販売といった観光産業との連携



観光農園



安心院ワイン祭り



## 農地の利用集積

Yakkangawa

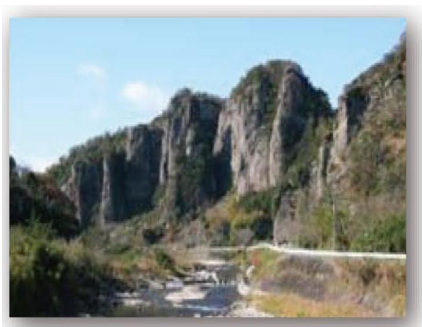
- 大規模で効率的な高生産性農業の展開を図るため、農地中間管理機構((公社)大分県農業農村振興公社)を活用し、農地の出し手(所有者)から地域農業の担い手(新規参入法人等)への利用集積を機動的かつ加速的に実施します。
- 受け手と担い手にとっては、集約化した農地を借りることができ、規模拡大が可能となります。
- 農地中間管理機構が農地の所有者と受け手をつなぐ役割を担います。

## 地域の観光と特産

Yakkangawa

### ・仙の岩

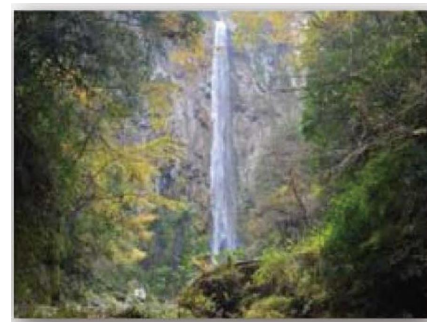
集塊岩でできた旧耶馬風景の代表的なものであり、特に剣ヶ岳は全耶馬溪随一の大きな大岩柱です。



深見川の清流を見下ろすように奇岩がそびえ立ち、ツタやカズラに覆われた岩が造り出す自然の美は、まるで山水画の世界です。

### ・東椎屋の滝

日本の滝百選に選ばれた東椎屋の滝は、日光華厳の滝に似ていることから「九州華厳」と称されています。



高貴端麗な名瀑で滝壺から流れ出る清流の渓谷、溪流の見事さもこの滝の特色です。

### ・ぶどう



宇佐市では、安心院地域を中心とする12箇所のぶどう園や組合において、夏から秋の時期にぶどう狩りが楽しめます。人気が高いシャインマスカットやピオーネなど、ぶどう農家が丹精を込めて育てた新鮮なぶどうを味わうことができます。

### ・鍔絵(こて絵)

鍔絵とは家の土蔵や妻壁、戸袋に描かれたレリーフのことです。平らに塗られた漆喰の壁面に、鍔を使って漆喰を盛り上げ彩色した漆喰を上塗りするというものです。

宇佐市内には、数多くの鍔絵が残されていますが、中でも安心院町では、恵比寿、大黒、龍や虎などを描いた大作が多く、幸福を招く招福辟邪の祈りが込められています。



農林水産省 九州農政局 駅館川農地整備事業所

〒879-0444 大分県宇佐市石田43-1

TEL 0978-34-6277